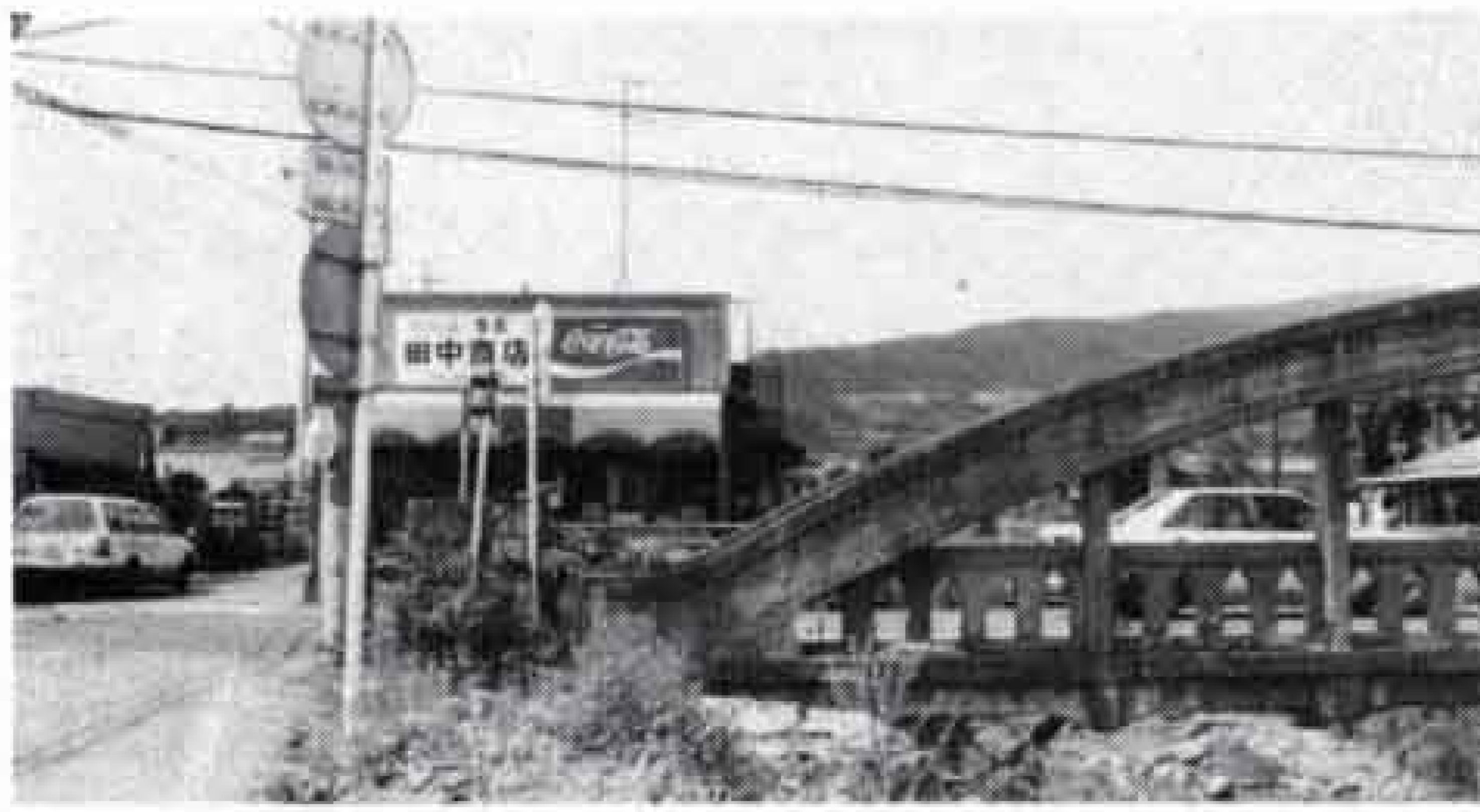




中里八幡町に住む、田中しづ江さん(六十一歳)は昭和八年ごろの須津橋近くの様子を、次のように話してくれました。

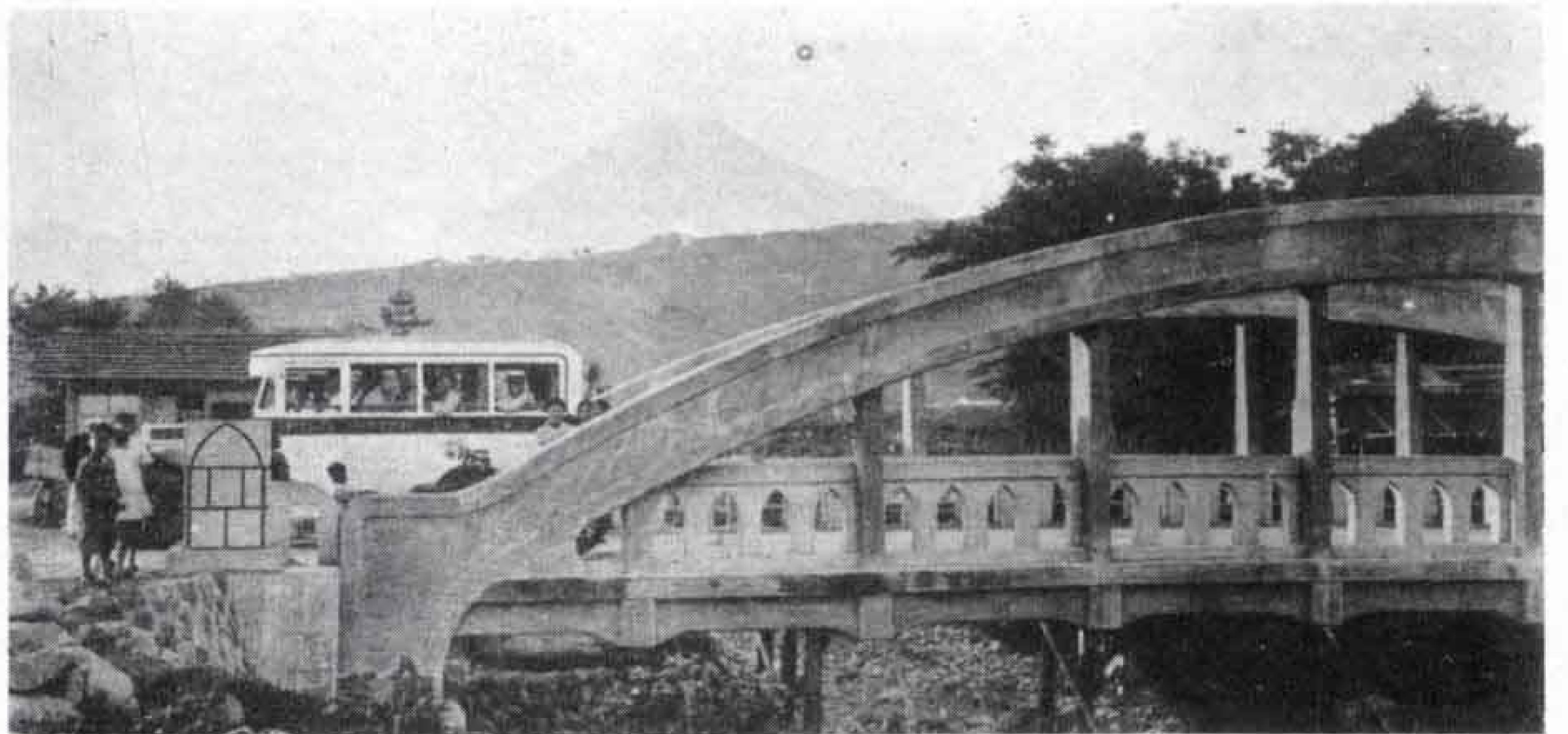
「私が小学生のころだけど、家の裏側も橋の南側も、ずっと林でした。今、須津中学校のある場所は、桃の林やお茶畑だったね。須津小学校は、昔から今の場所になりました。須津川の川幅は、昔は今の半分くらいで、家もふえたし、だいぶ変わっちゃったね」

# 富士の今と昔 ①9



老朽化した現在の須津橋は、本年度中に架け替えられる予定です

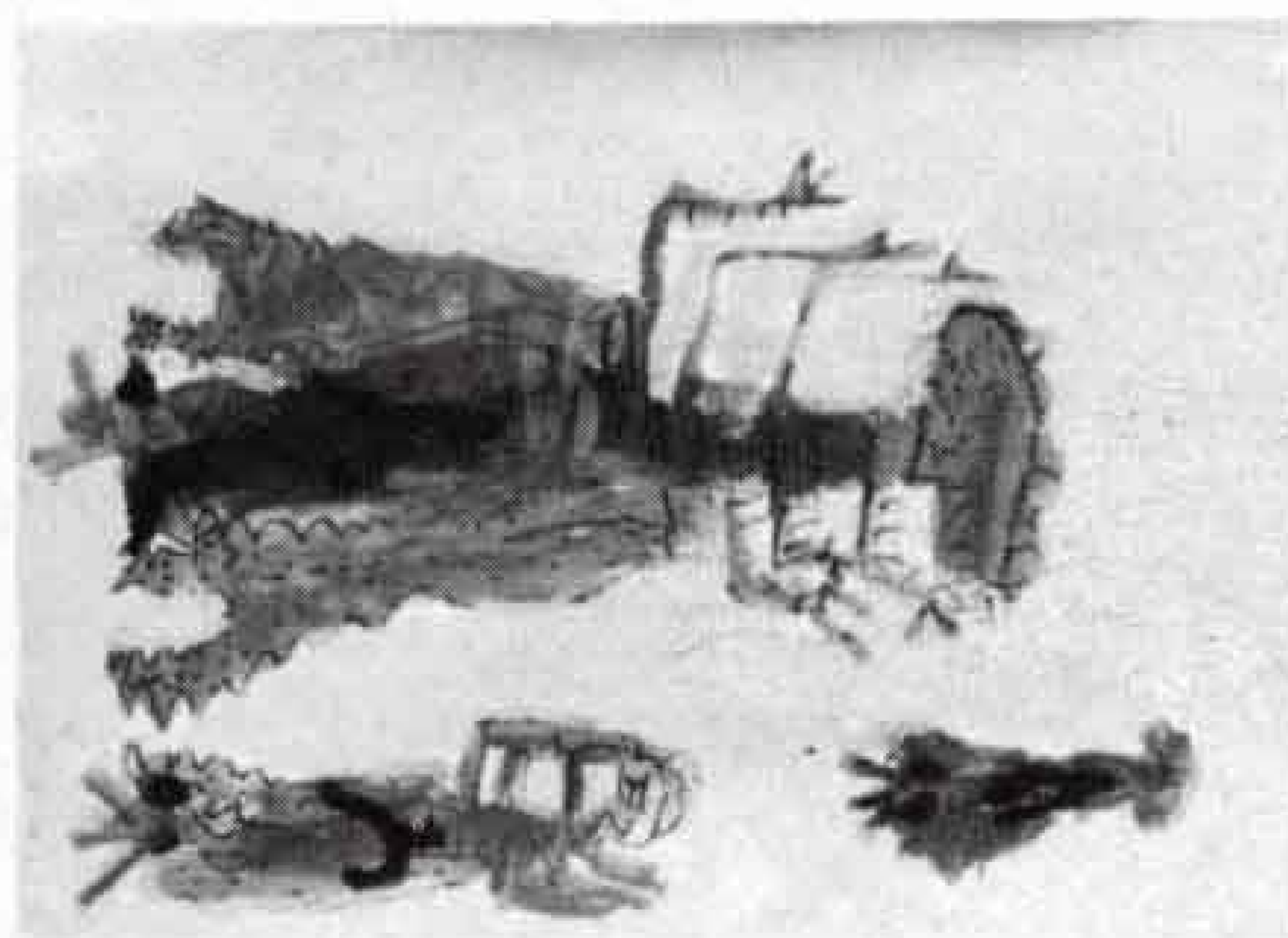
昭和8年ごろの須津橋



宮の上保育園のお友達の作品を紹介いたします。子供たちの大好きなザリガニの絵です。



ひがやけいりちろう

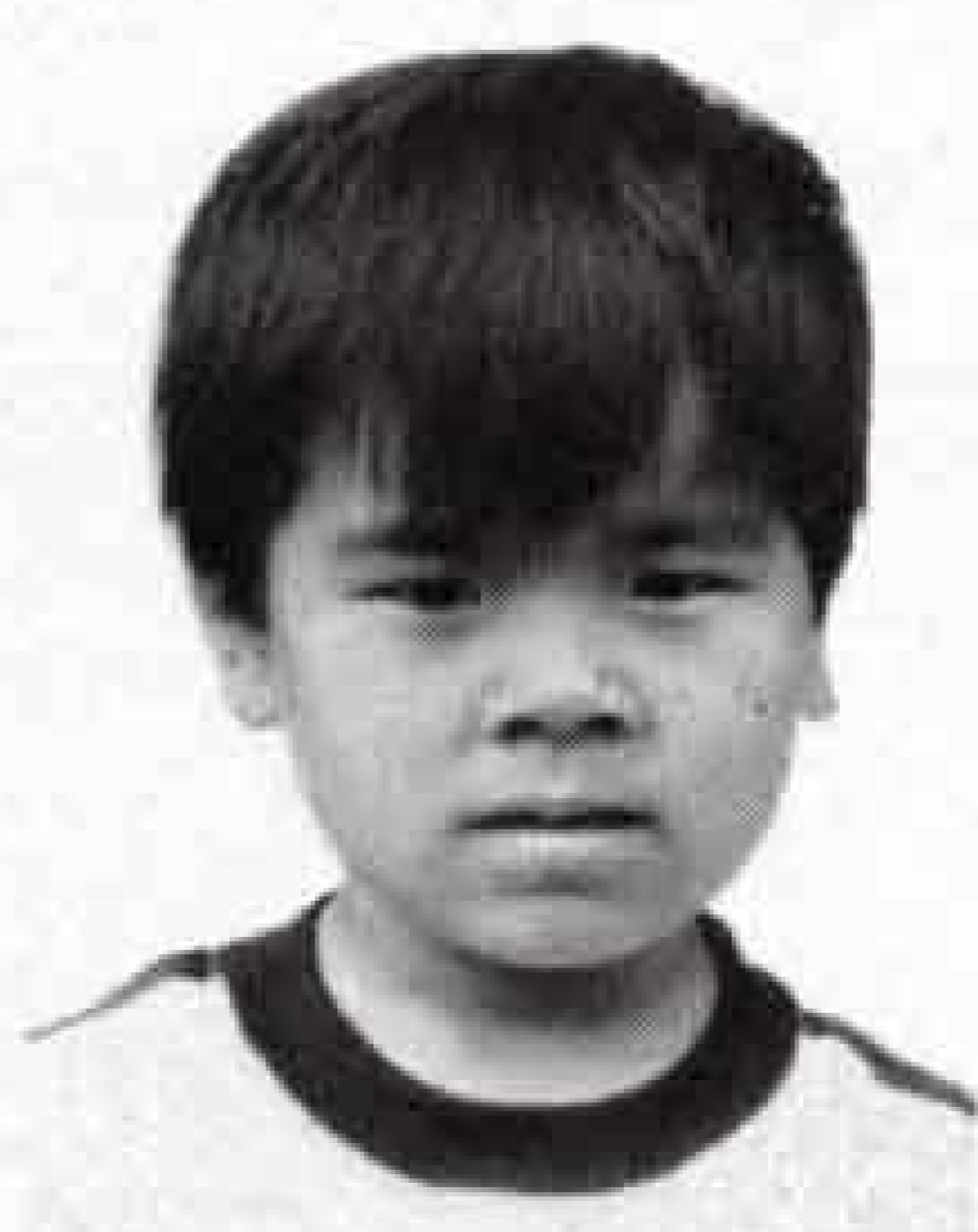


さとうなおひろ



先生が、保育園に持って来てくれたザリガニをかきました。さわると水の中でピヨンとはねてはさみをふり上げるんだ。

はさみのぎざぎざをかくところが、一番むずかしかったよ。絵をかいたあと、かわいそうだから、みんなで川にはなしてやっただ。



信じ合える本当の友達をつくるためにも、今後とも努力したいと思います。(八月二日、富士高は見事八連覇を果たしました)

## こちら編集室

富士の今と昔も回を重ねて十九回目。そろそろタネも尽きてきました。風景でなくても結構です。古い写真がありましたらご一報を。

# キャプテン 登場

⑩

## 富士高等学校

## かるた部

部長・久保倉利和



我が富士高かるた部は、正式名称「富士高等学校高嶺会」といい、昭和四十五年に創立され、ことしで十七年になります。全国の高等学校のかるた部の中ではかなり古い方です。これまでに卒業生一六九人、うち一四八人の有段者を持つ全国的に見てもレベルの高い部活です。現在部員は三年生一九人、二年生八人、一年生一八人です。春夏二度の学生から社会人まで入りまじって争われる職域かるた大会及びことしで第八回を迎え、今

までのところ我が校が七連覇を果たしている全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会を目標に毎日の練習に励んでいます。今年で八回目を迎える大会になぜ今まで七連覇もできたのか、その理由の一つは生活館という広い練習場に恵まれているからです。もう一つは十七年間受け継がれてきた先輩方からの伝統のおかげです。でも僕たちは、ただ勝つためだけにかるたをやっているのではありません。かるたを通し、心から